

■本学学生における新型コロナウイルス感染者の発生について

県立広島大学広島キャンパスの学生3名、庄原キャンパスの学生2名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【学生の概要】

広島キャンパス学生 3名（A, B, C）

- （1）年代：10代後半～20代前半
- （2）居住地：学生A, Cは広島市内、学生Bは江田島市内
- （3）症状及び状況

区分	症状	状況
学生A	発熱, 喉痛	7月22日(金)抗原検査で陽性判明, 自宅療養中
学生B	発熱, 咳, 喉痛	7月23日(土)PCR検査で陽性判明, 自宅療養中
学生C	発熱	7月26日(火)PCR検査で陽性判明, 自宅療養中

- （4）他事例との関連：保健所により調査中
- （5）濃厚接触者等（※）：なし

庄原キャンパス学生 2名（D, E）

- （1）年代：10代後半～20代前半
- （2）居住地：庄原市内
- （3）症状及び状況

区分	症状	状況
学生D	発熱, 喉痛	7月27日(水)PCR検査で陽性判明, 自宅療養中
学生E	発熱, 喉痛	7月28日(木)抗原検査で陽性判明, 自宅療養中

- （4）他事例との関連：保健所により調査中
- （5）濃厚接触者等（※）：今回陽性が判明した学生Dと行動をともにした学生3名（当該3名は検査中）

【感染防止のための学内の取組】

- 本学では、学生に対し、基本的な感染防止対策（3密の回避、マスク着用、手洗い・咳エチケット、十分な換気など）やPCR検査の積極的活用などの感染防止策の徹底、感染しない感染させない行動に心がけるよう注意喚起を実施しています。
- 直近の県内の感染者数が増加傾向にあることをふまえ、体調管理の徹底や体調不良時の医療機関の受診、3回目を含むワクチンの積極的接種を促すなど、感染防止の徹底に取り組んでいます。

今後も、関係機関と緊密な連携を取りながら、感染防止に万全を期してまいります。

本人及び関係者の人権尊重と、個人情報の保護に十分な御配慮をお願いいたします。

※「濃厚接触者等」の定義は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための
広島県の対処方針（令和3年12月1日改正）において次のとおり示されています。
「濃厚接触者等」…感染者と感染可能期間に同一空間にいた者